

鎌倉交響楽団

第103回

定期演奏会

2014年6月14日(土)

鎌倉芸術館 大ホール

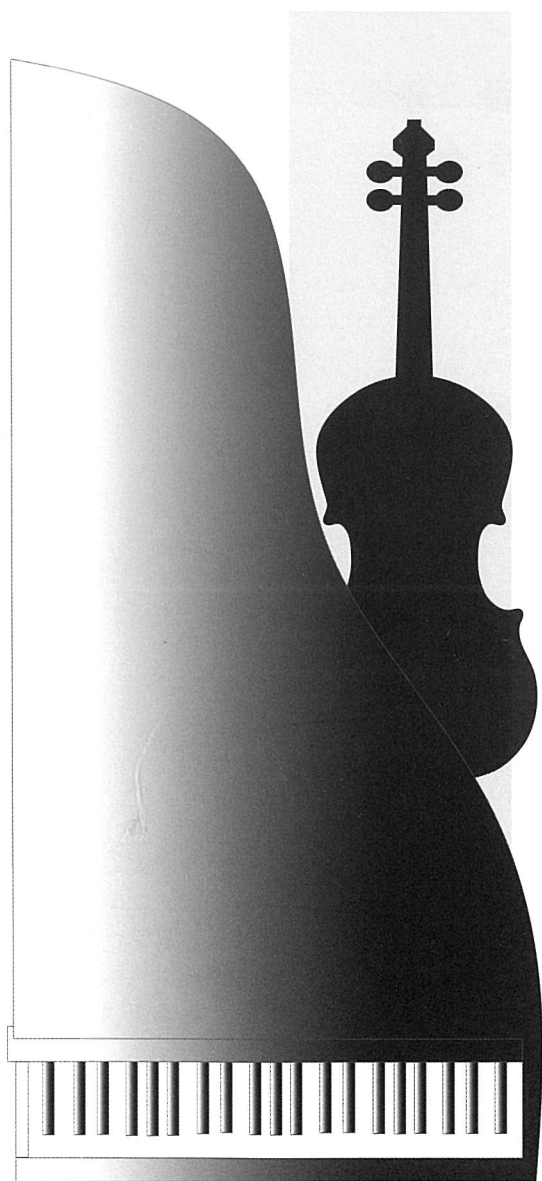
開演 14:00



[主催] 鎌倉交響楽団

[後援] 鎌倉市教育委員会

鎌倉エフエム放送



鎌倉交響楽団 第103回 定期演奏会

指揮 清水 史広

ショスタコーヴィチ

祝典序曲

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第3番 二短調

ピアノ 菊地 裕介

~~~~ 休憩(20分) ~~~~

チャイコフスキー

交響曲 第4番 へ短調

指揮 清水 史広

Conductor

Shimizu Fumihiro



1989年相愛大学音楽部卒業。酒井睦雄、尾高忠明、円光寺雅彦の各氏に師事。同年、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」で指揮者としてデビュー。以来コンサートやオペラで幅広く活躍し現在まで京都市交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、京都フィルハーモニー等を、オペラではモンテヴェルディからブリテンに至るまで数多くの演目を指揮。

1995年から1998年まで文化庁オペラ研修所の講師として後進の育成に携わり、自らもウバルト・ガルディーニ氏の薫陶を受ける。1996年ウィーン及びザルツブルグで指揮した公演は新聞紙上でも「絶賛の嵐」と賞され、以来、

欧州でも活動を開始。1996年水戸芸術館制作クリスマスコンサート、1998年同オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を指揮。1998年三枝成彰プロデュースオペラ「椿姫」を、2000年同「トスカ」を指揮。びわ湖ホールとの関係も深く、1998年より芸術監督若杉弘氏の提唱で始まった9年間にわたるヴェルディ作品の日本初演シリーズにスタッフとして関わり、自らも「魔笛」「こうもり」「メリーウィドー」など同劇場のオペラ公演やコンサートレパートリーを数多く指揮する。

2003年SINFONIA DOMANIの音楽監督に、そして2006年Jean Le Toise Yokohamaの音楽監督に就任。2007年8月に指揮した「フィガロの結婚」は、各方面から高い評価で迎えられた。2008年シベリウスの大作「クツレルヴォ交響曲」の関西初演を指揮。2010年藤沢オペラにおいて「道化師」を指揮した公演は「今年最大の収穫」（音楽の友評）と高い評価を受けた。

近年ではオーケストラアンサンブル金沢制作の「OEK室内オペラシリーズ」を初め、全国で様々な活動を展開している。

鎌倉交響楽団とは第11回ファミリーコンサート（2013年）でムソルグスキー（ラヴェル編曲）組曲「展覧会の絵」などを指揮し初共演している。

## ピアノ 菊地 裕介

Piano

Kikuchi Yuusuke

1977年東京生まれ。1994年日本音楽コンクールで第2位。高校卒業と同時に渡仏し、パリ国立高等音楽院に入学。ローム・ミュージックファンデーションより助成を受け、高等課程を経てピアノ研究科を修了したほか、5つの一等賞を得てピアノの他に歌曲伴奏、作曲書法の高等課程を修了。2003年からはハノーファー音楽大学ソクラスでさらに研鑽を積む。文化庁芸術家在外研修制度の助成を受け、2009年ドイツ国家演奏家資格を取得。

皆川紀子、加藤伸佳、ジャック・ルヴィエ、アリエ・ヴァルディの各氏に師事、マリア・カナルス、ポルト、プーランクコンクール優勝、またジュネーブ、ベートーヴェンなど、数多くの国際コンクールに入賞する。2007年に東京藝術大学の講師に招かれ帰国後、「菊地裕介メシアン生誕100年プロジェクト・幼子イエスに注ぐ20のまなざし、アーメンの幻影全曲演奏」「横浜市招待国際ピアノ演奏会」「毎日ゾリステン」「東京オペラシティ B→C」など精力的な活動を展開。

2枚目のCDアルバム「B-A-C-H」(DENON)に収録された、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番、ピアノ独奏版」は、ブゾーニ編の「シャコンヌ」に加えた独自の編曲により全曲を完成させたもので、全音楽譜出版社より自身の解説と校訂により出版された。また2010年にはオクタヴィア・レコード(TRITON)よりオール・シューマン・プログラムによる5枚目のアルバム「ダヴィッド同盟舞曲集」を発売し、収録曲の校訂譜も出版している。同年ベートーヴェンピアノソナタ全32曲録音を開始し、約2年間をかけて完結。また11年6月には2日間で全32曲を完奏するコンサートを名古屋にて成し遂げた。フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、チェコ、ポーランドといった欧州の多くの国々でリサイタルを開催、また多くのオーケストラと共演を重ねている。国内では東京交響楽団、東京都交響楽団、東フィル、東京シティフィル、仙台フィル、大阪シンフォニカーなどと共演。室内楽では清水和音、永野英樹とのピアノデュオやオーボエの巨匠モーリス・ブルグ、若手ではフルートの瀬尾和紀との共演など、いずれも好評を博している。2013年10月公益財団法人東京オペラシティ文化財団主催の没後50周年記念フランシス・プーランクの夕べに出演しこの公演が平成25年度文化庁芸術祭音楽部門優秀賞を受賞。東京音楽大学専任講師として後進の指導にあたる。



本日は清水史広氏の指揮で、ロシアの3人の作曲家、チャイコフスキー、ラフマニノフ、ショスタコーヴィチの作品をお聞きいただきます。

チャイコフスキーを筆頭に、19世紀後半から20世紀にかけて、ロシアの作曲家はクラシック音楽の世界で大きな地位を占めていますが、19世紀半ばまでロシア国内には本格的な音楽教育機関がなく、作曲家を職業として目指せるのは西欧に居留して勉学できるような一握りの富裕層でした。そのような状況を変えようとしたのが、当時ベルリンに在住しメンデルスゾーンらと交流のあったピアニストのアントン・ルビンシテインです。彼は1862年にサンクトペテルブルク音楽院を創設し、その一期生として入学した一人にチャイコフスキーがいます。また、1866年にはアントンの弟、ニコライ・ルビンシテインがモスクワ音楽院を創設。1878年、チャイコフスキーは同音楽院の教授を務めることとなります。また、ラフマニノフはサンクトペテルブルク音楽院の幼年クラスに学び、後にモスクワ音楽院に移り1891年ピアノ科を、翌年に作曲科を卒業。ショスタコーヴィチは1919年から1923年にサンクトペテルブルク音楽院に学んでいます。

### 祝典序曲 イ長調 作品96 ドミートリイ・ショスタコーヴィチ (1906～1975)

1947年に書かれましたが、なぜか当時は公開されず、発表されたのは7年後の1954年です。いわゆる「鉄のカーテン」の時代なので詳しい事情は不明なのですが、1947年に革命30周年記念として委嘱を受けて作曲したものの不採用。7年後（革命37周年）に再び委嘱を受けたのですが、余りにも急な要請だったために、不採用となっていた原曲を急ぎよ手直した、という説や、革命37周年の前年1953年にスターリンが没したため、体制からの解放を密かに願って原曲を改作し復活させたという説もあります。

もともとは管弦楽作品ですが、近年は吹奏楽用に編曲され広く演奏されています。

冒頭の華々しいファンファーレ、クラリネットによる動きのある主題、ホルンとチェロの伸びやかな調べ、といった格式のなかに軽妙さを備えた魅力をお楽しみください。

### ピアノ協奏曲 第3番 二短調 作品30 セルゲイ・ラフマニノフ (1873～1943)

ラフマニノフのモスクワ音楽院卒業作品であるオペラ「アレコ」は卒業の翌年1893年に初演され、チャイコフスキーはそのリハーサルに立ち会い、実際の上演では聴衆の喝采を先導したほどラフマニノフの才能を高く評価しました。ラフマニノフもチャイコフスキーを心から敬愛していたのですが、同年、この尊敬すべき師は突然この世を去りラフマニノフは茫然自失に陥ります。その後の作曲活動においても、交響曲第1番（1895年）が酷評を受けたこともあり作曲家としての自信を喪失、強度の神経衰弱に陥るのですが、懸命の治療により、かの有名なピアノ協奏曲第2番（1901年）を完成するまでに回復します。本日お聞きいただく「ピアノ協奏曲第3番」はアメリカ演奏旅行用として作曲されたもので1909年ニューヨーク・カーネギーホールでラフマニノフ自身のピアノにより初演され大好評を博します。

ラフマニノフ自身は、その超絶技巧に加え、「大きな手」（左手5指でド-ミ-ソ-ド-ソを打鍵。ちなみに身長は6フィート半≒2m）が演奏において有利だったのは確かで、この曲には他の演奏家にとっては困難極まる運指や和音が多く、音楽的要求とともに技術的要求の高さでも「第3番」は格別な作品といわれています。なお、ラフマニノフは、ヨゼフ・ホフマン（アントン・ルビンシテインの弟子）を自身の作品の最高の解釈者と認め、この第3番を献呈するのですが、ホフマンはこれを一度も演奏することはなかったようです。

第1楽章 導入部の短い旋律の後、ピアノによって抒情的な主題が現れ、この曲全体を貫く旋律となり、さまざまに展開します。難易度の高いピアノのカデンツァを含むことで有名です。

第2楽章 即興的な、変奏曲の要素を含む穏やか楽章です。切れ目なく第3楽章に続きます。

第3楽章 今までの楽章と異なり力強く決然とした展開を見せ、ラフマニノフ特有の軍樂的な終止（“ジャン・ジャカ・ジャン”）でこの曲を閉じます。

第99回定期演奏会(2012年)に続き今回2度目の共演となる菊地裕介氏のピアノで、抒情的かつダイナミックなラフマニノフの魅力をどうぞお楽しみください。

交響曲 第4番 へ短調 作品36 ピョートル・チャイコフスキー (1840～1893)

1876年にチャイコフスキーは、一通の手紙を受け取ります。差出人は大富豪の未亡人フォン・メック(メック夫人)、年間6000ルーブルという高額な資金援助の申し出でした。この第4交響曲(1878年初演)は「わが親愛なる友に」という献辞とともにこのメック夫人に捧げられます。彼はメック夫人あての手紙で、この曲を「私たちの交響曲」と呼び、「標題音楽的なストーリーを意図した曲」、「冒頭のファンファーレを」「運命のモチーフ」と解説していることから明らかなように「運命と対峙し克服する」「苦悩から歓喜へ」というベートーヴェン流のストーリーを組み込もうとしたようです。

第1楽章 冒頭の金管の壮烈な叫びは、メック夫人への手紙によると「全曲の中核となっている運命のモチーフ」です。この後、いかにも情緒の安定しない「ワルツ」が現れます。(絶望の中での「出口の見えないワルツ」とは指揮の清水氏の言葉。)  
「運命のモチーフ」は第4楽章に再び現れます。

第2楽章 寂しさと甘さをたたえた主題がオーボエによって演奏されます。チャイコフスキーならではのロマンティックなメロディです。最後はファゴットの静かなソロで静かに終わります。メック夫人への手紙によると、この楽章は「メランコリックな感情」を表現しています。

第3楽章 最初は弦のピツィカートだけで演奏され、中間部はロシア舞曲のような素朴なメロディが次第に盛り上がっていきます。最後はピアノシモになって途切れるように終わります。チャイコフスキーは例の手紙の中で、この楽章のことを「でたらめで、きまぐれなアラバスク」と書いています。

第4楽章 爆発的な全合奏によるフォルティシモで急速に駆け下りていくような主題が繰り返された後、木管楽器によるロシア民謡「野に立つ樺の木」による旋律が出てきます。テンポが緩やかになると、第1楽章冒頭の「運命」のファンファーレが現れますが曲はクレッシェンドを続け、シンバル・ティンパニの連打による躍動的なリズムに乗って強烈に全曲を結びます。

1877年、チャイコフスキーは、彼の熱狂的ファンと称する女性からの執拗で一方的な求愛に押し切られるかのように慌ただしく結婚するのですが、結婚生活はたちまち破たん。激しい悔恨の情と自己嫌悪で自殺をはかるほど精神を病んだ彼は、周囲の勧めもあり静養を兼ねて国外へ脱出。その年の12月、ヴェネツィア滞在中に、この交響曲第4番を完成させます。メック夫人に、この曲を「運命のモチーフを持つ」と解説した背景には、このような事情も関連していると思われます。

メック夫人との関係ですが、メック夫人は資金援助を13年にわたって続け、1200通余りの手紙を交換するものの、この二人は生涯一度も会うことはありませんでした。そして1893年のチャイコフスキーの死のわずか3か月後にメック夫人も息を引き取ります。

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

# 芋川耳鼻科クリニック

鎌倉・小町壱番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 0467(24)7273

今回の演奏会にあたり、木原 亜土氏、土屋 光彦氏、徳武 敦氏ならびに平林 剛 氏にもご指導いただきました。  
 また、ピアノ代奏を仁部 優子氏にご協力いただきました。ありがとうございました。

### 団員出演者名簿

#### 1st Violin

青木 淑子  
 石川 静  
 大野 孝士  
 小川 穰  
 川西 清美  
 河原 寛  
 桐本 圭三  
 ● 五味 俊哉  
 鈴木 涉子  
 鈴木 眞優子  
 須長 眞麗子  
 曾根 民子  
 永井 眞由美  
 翠田 しほり  
 山崎 隆  
 原 彩

関口 杏奈  
 竹谷 美江奈  
 蛸島 茂樹  
 田丸 陽子  
 中橋 美木子  
 御室 美佐子  
 望月 由佳子  
 八木 育江

#### Viola

石川 まり  
 大貫 歩美  
 ● 梶 成彦  
 ● 佐々木 敬史  
 高橋 良子  
 高村 俊彦  
 田ヶ原 恭子  
 築山 祐子  
 福島 透  
 古屋 眞菜  
 前島 安奈  
 水上 清

#### Cello

飯田 達男  
 ● 伊東 敦  
 岩本 富美雄  
 大庭 伸仁

梶 淳子  
 佐藤 洋子  
 重兼 壽夫  
 志村 篤子  
 鈴木 達広  
 中井 良樹  
 ● 二川 有子  
 毛利 史子

#### Contrabass

大内 達郎  
 大澤 逸人  
 佐藤 正  
 廣瀬 澄夫  
 ● 福島 晋哉  
 矢野 健均  
 渡辺 均

#### Flute & Piccolo

安藤 美奈子  
 曾根 美樹  
 ● 高畑 裕恵

#### Oboe

桑野 若菜  
 清水 里美

辻 亮平  
 中橋 英純  
 ● 山崎 一哉

#### Clarinet

内田 千枝子  
 片山 眞知子  
 ● 篠原 祐子  
 鈴木 美緒  
 前沢 実  
 望月 俊哉

#### Fagotto

富井 一夫  
 眞柳 智之  
 三浦 隆昭  
 三原 一真

#### Horn

芥川 敬  
 稲生 眞莉  
 白井 賢司  
 ● 福地 亜希  
 宮崎 敏幸

山崎 和之  
 山田 克彦

#### Trumpet

上村 拓也  
 後藤 三穂子  
 竹内 純子  
 津金 勝技  
 浜野 耕平  
 ● 福地 稔栄

#### Trombone & Tuba

櫛田 陽祐  
 桜井 貴志  
 ※ 蛭田 歩  
 ● 府川 創作  
 藤村 晶夫  
 ◇ 渡邊 千晶

#### Percussion

● 今城 信彦  
 佐藤 正平  
 高橋 正彦  
 蓑田 俊之

● パートリーダー ◇ 団友 ※ 賛助出演

#### 2nd Violin

新井 俊成  
 石崎 立子  
 石橋 智子  
 岩谷 かおり  
 梅原 哲郎  
 五味 晶子  
 重兼 文恵  
 ● 白水 千晶

♪♪♪ 鎌倉交響楽団 ♪♪♪

### 第104回定期演奏会

鎌倉芸術館 大ホール

2014年10月25日(土) 14:00 開演予定  
 入場料 ¥1,000

指揮 三原 明人

ヴェルディ 「運命の力」序曲

バルトーク 舞踏組曲

ドヴォルジャーク 交響曲第7番

### 第57回 鎌響室内楽演奏会

鎌倉生涯学習センターホール

2014年11月30日(日) 14:00 開演予定

<< 入場無料 >>

団員有志による

アットホームな

室内楽演奏会



鎌倉交響楽団では仲間を募集しています。(一部パートを除きます。募集終了の節はご容赦ください。) 連絡先: 鎌倉交響楽団事務局 田中 幸一 TEL:0467-25-3512

鎌響ホームページもご覧ください。  
<http://kamakura-symphony.com/wordpress/>

## Implant Center KAMAKURA



## 田中歯科御成町

インプラント・審美歯科

鎌倉駅西口みずほ銀行向かい・勝烈庵 2階

TEL&FAX 0467-24-0882 <http://www.tanaka-dc.com/>

HAIR SALON

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(ヤのヤビルB1)  
TEL.(0467)22-4105

信頼と確かな技術の  
メガネの専門店  
八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネのことならなんでもお気軽にご相談ください

- 遠中近用レンズ
- 中近用レンズ
- パソコン用レンズ



落ち着いた店内で  
ご希望・お悩みをお聞きし  
あなたに合ったメガネを  
御調整致します。

TEL 0467-  
22-2964



輸入楽譜専門

全国すぐ  
郵送します。



KAMAKURA  
MUSICJA

(株)カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766  
FAX.0467-22-9755

〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33  
http://www.kamakura-musica.com/  
定休日 = 日曜日・祝祭日

カフェレストラン

Pause

パウゼ

鎌倉芸術館内 一階

TEL: 0467-45-3140  
FAX: 0467-45-3140

TAKUZO  
SHINYOKOHAMA



ここで見つかる、音

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-24  
TEL&FAX 045-473-7393 SK-IIビル3F-A  
info@vn-takuzo.com http://vn-takuzo.com

弦楽器工房 拓哉 (調整・修理・販売)

■営業時間: 10:00~19:00 予約優先

■定休日: 日曜日、水曜日、3日

※月曜日は完全予約制

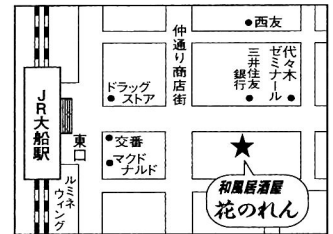


和風居酒屋 花のれん

▷ 営業時間 ◁

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00  
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



seiko

新築・リフォーム・土地活用

清興建設株式会社

お問い合わせは

☎0467(24)3700

鎌倉市大町1-10-6

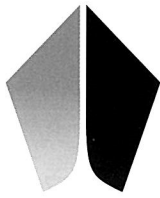
http://www.reformplus-kamakura.com



鎌倉生まれ、鎌倉育ち。

鎌倉ビール

http://www.kamakura-beer.co.jp/



Bank of Yokohama

Afresh あなたに、あたらしく。

横浜銀行

鎌倉支店 TEL:0467-23-3131

鎌倉といえば...

鳩サブレー

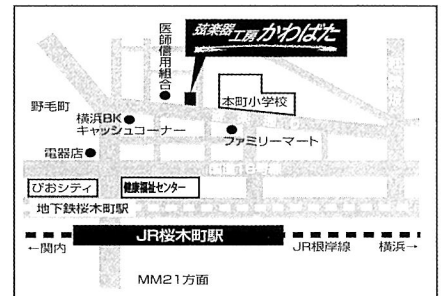


豊島屋

鎌倉八幡宮前通り  
TEL 0467-25-0810(代)

《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/ AM10:00~PM7:00 (日・祭休み)

世界で一番小さいデパート

アトリエ K&T (わや)

古布ちりめんの香袋など  
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、  
両手いっぱいになります!

営業時間/10:00~16:00  
〒248-0002 鎌倉市二階堂38-9

営業日/木、金、土  
TEL. 0467-24-5918

フリーダイヤル 0120-50-2615



荏柄天神店(わや)  
P有り  
荏柄天神店  
営業時間10:00~16:00  
鎌倉駅前バス停No.5  
天神前下車

至北鎌倉 鎌倉駅 至逗子

http://homepage3.nifty.com/k-t/